



第70期 中間株主通信

2011年6月1日～2011年11月30日

証券コード 5310



連結業績

CONSOLIDATED RESULTS

	当第2四半期 平成23年6月1日から 平成23年11月30日まで	前第2四半期 平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで	前年同期比増減
売上高	21,535百万円	18,413百万円	17.0% 増
営業利益	4,411百万円	3,019百万円	46.1% 増
経常利益	4,363百万円	2,796百万円	56.0% 増
四半期純利益	2,383百万円	1,916百万円	24.4% 増

市場環境のうねりの中で

株主の皆様には、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第70期中間株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

第70期第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、アジア諸国をはじめとする新興国の成長に支えられ、総じて緩やかな景気回復が継続いたしました。また国内経済は、東日本大震災にともなう影響も徐々に解消し、景気は上向きとなりました。しかしながら、欧州の債務危機を発端として世界経済の減速感が強まっていることに加えて、日本においては歴史的な円高水準が足かせとなる等、国内外とも景気の下振れ懸念が顕在化しつつあります。このような状況の中、当企業グループは、特に環境・エネルギー関連分野を中心とする旺盛な需要を積極的に取り込むとともに、高付加価値品へのシフトを含む販売価格の底上げを図る等、業績の拡大・改善に注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、円高の影響や高水準の減価償却費負担はあったものの、大幅な増収増益となり、半期としては過去最高の業績を達成することができました。

今後の見通し

今後の国内外の経済環境につきましては、引き続き緩やかな回復基調が継続すると見ておりましたが、欧州の債務危機を発端として世界的な景気の下振れ懸念が高まっており、為替の動向も含めて、先行きは予断を許さない状況となっております。

当企業グループを取り巻く状況も、歴史的な円高水準に加えて、足もとでは太陽電池市場の変調が顕在化しつつあることから、少なくとも短期的な調整は避けられない見通しです。当企業グループといたしましては、一般産業用や機械用等の幅広い分野での拡販努力を推進し、カバーに努めてまいるので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2012年2月



代表取締役会長
近藤 純子

代表取締役社長
近藤 尚孝

CATEGORY 01

主要製品▶

特殊黒鉛製品

特殊黒鉛製品は主に等方性黒鉛材料を使用しています。エレクトロニクス分野では単結晶シリコン製造用、化合物半導体製造用、太陽電池製造用等に使用されており、一般産業分野では金属溶解等の冶金関連や各種工業炉向けの高温発熱体および炉内構造材、金型製造時の放電加工電極等に使用されています。このほか、原子力、宇宙航空、医療用分野等幅広い分野で使用されています。



ヒーター



るつぽ



封着用治具



連続鑄造用ダイス



放電加工電極



原子力用炉心材

CATEGORY 02

主要製品▶

一般カーボン製品

主に従来の成形法で製造された炭素材料を使用しています。機械用カーボン分野では、一般産業機械用においてポンプやコンプレッサーの軸受け等の摺動部品、気体や液体のシール材として使用されており、輸送機器用において、鉄道のパンタグラフ用すり板として主に使用されています。電気用カーボン分野では掃除機や電動工具等の民生用途における小型カーボンブラシや、産業用途における大型カーボンブラシに使用されています。



ベアリング



パッキン



シールリング



パンタグラフ用すり板



大型ブラシ



小型ブラシ

CATEGORY 03

主要製品▶

複合材その他製品

等方性黒鉛材料を基材に他の材質をコーティングした複合材料であるSiCコーティング黒鉛製品のほか、カーボンとカーボンファイバーとの複合材料であるC/Cコンポジット製品、天然黒鉛を原料とする黒鉛シート等を製造販売しています。



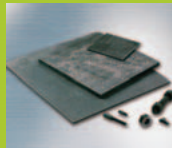
EBCサセプター



MOCVD サセプター



工業用ガasketおよびシール材



C/Cコンポジット製品 (2次元織タイプ)



C/Cコンポジット製品 (るつぽ)



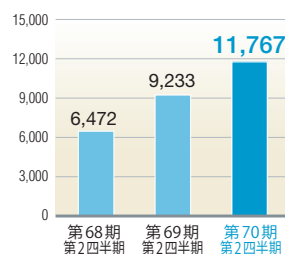
C/Cコンポジット製品 (角型るつぽ)

太陽電池製造用が前半大幅に伸長するも終盤は調整局面に

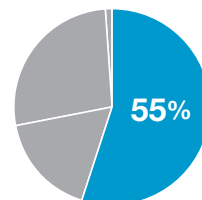
エレクトロニクス分野においては、単結晶シリコン製造用は半導体業界の不振を受けて伸び悩みましたが、主力用途である太陽電池製造用が中国を中心に大幅に伸長し、全体を牽引いたしました。ただし太陽電池用は、終盤に入り調整の動きが強まっております。

一般産業分野では、国内景気持ち直しや新興国の成長を背景に、自動車関連をはじめ工業炉用や冶金用が国内外とも健闘する等、総じて堅調に推移いたしました。

■売上高(百万円)



■売上高構成比

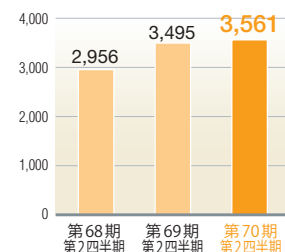


機械用カーボン分野の拡販が進展

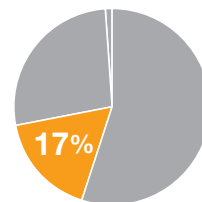
機械用カーボン分野は、国内景気を持ち直しに加えて震災の復興関連需要もあり、軸受け・シール材等を中心に拡販が進展いたしました。

電気用カーボン分野は、掃除機用・電動工具用等の小型モーター用が、主力の中国市場における競争激化や円高の影響もあり、総じて低調に推移いたしました。

■売上高(百万円)



■売上高構成比



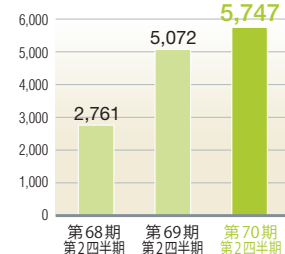
C/Cコンポジット製品の健闘により堅調に推移

SiC(炭化ケイ素)コーティング黒鉛製品においては、急成長の反動から調整を余儀なくされていたLED関連の需要が底打ちしつつあるものの、未だ調整に時間を要しており、全体としては横這い水準にとどまりました。

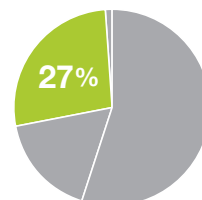
C/Cコンポジット製品では、単結晶シリコン製造用が堅調に推移するとともに、太陽電池製造用や工業炉用が海外を中心に伸長する等、総じて好調に推移いたしました。

また黒鉛シート製品は、半導体用・太陽電池用が後半失速したものの、自動車用が順調に回復し、総じて堅調に推移いたしました。

■売上高(百万円)

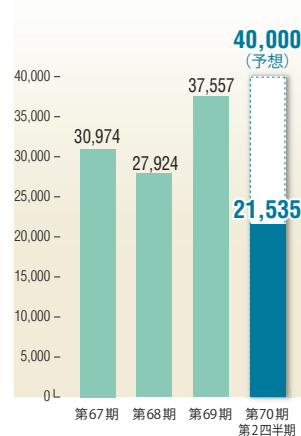


■売上高構成比

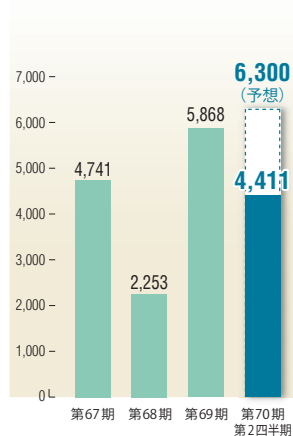


財務ハイライト (連結) | FINANCIAL HIGHLIGHTS

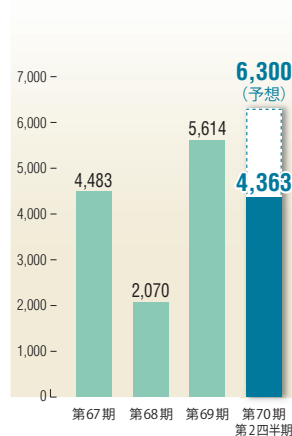
売上高 (百万円)



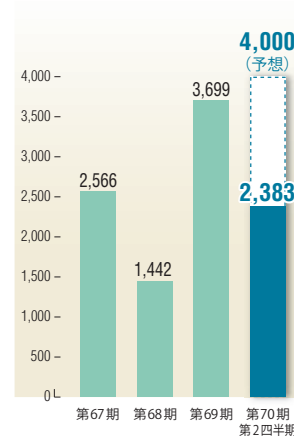
営業利益 (百万円)



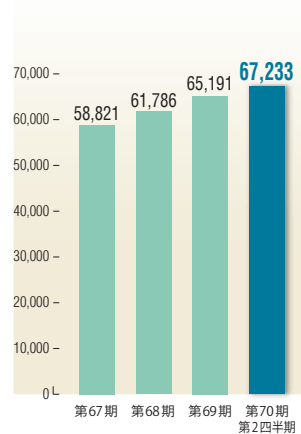
経常利益 (百万円)



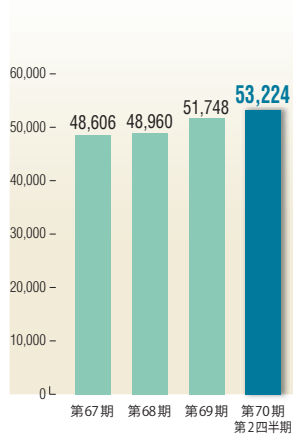
当期純利益 (百万円)



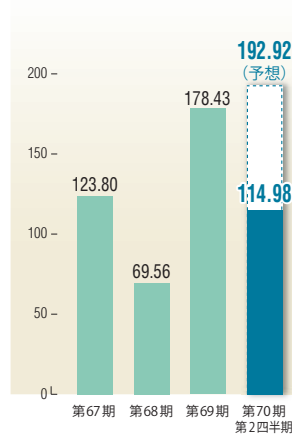
総資産 (百万円)



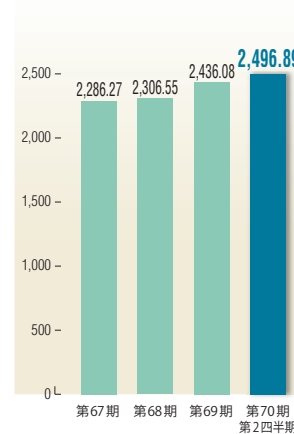
純資産 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



1株当たり純資産 (円)



連結貸借対照表（要旨）			（単位：百万円）
	当第2四半期 （平成23年11月30日現在）	前期末 （平成23年5月31日現在）	
資産の部			
流動資産	38,299	36,265	
固定資産	28,934	28,926	
有形固定資産	26,158	26,162	
無形固定資産	751	785	
投資その他資産	2,023	1,978	
資産合計	67,233	65,191	
負債の部			
流動負債	11,943	11,082	
固定負債	2,064	2,360	
負債合計	14,008	13,443	
純資産の部			
株主資本	54,266	52,338	
その他の包括利益累計額	△2,495	△1,828	
新株予約権	26	20	
少数株主持分	1,426	1,217	
純資産合計	53,224	51,748	
負債・純資産合計	67,233	65,191	

連結損益計算書（要旨）			（単位：百万円）
	当第2四半期 平成23年6月1日から 平成23年11月30日まで	前第2四半期 平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで	
売上高	21,535	18,413	
売上原価	13,781	12,399	
売上総利益	7,753	6,014	
販売費及び一般管理費	3,341	2,994	
営業利益	4,411	3,019	
営業外収益	139	76	
営業外費用	188	299	
経常利益	4,363	2,796	
特別利益	65	1	
特別損失	39	228	
税金等調整前四半期純利益	4,389	2,568	
法人税等	1,702	514	
少数株主利益	302	137	
四半期純利益	2,383	1,916	

！

業績のポイント

■

円高による目減りをはね返し、半期として過去最高となる215億円の売上を達成。

■

円高ならびに高水準の減価償却負担の影響はあったものの、20%水準の利益率を確保。高付加価値品へのシフト含む価格の底上げと、生産性向上によるoutput増も利益貢献。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）			（単位：百万円）
	当第2四半期 平成23年6月1日から 平成23年11月30日まで	前第2四半期 平成22年6月1日から 平成22年11月30日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,484	3,702	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,754	△3,915	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△729	308	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△182	△152	
現金及び現金同等物の増減額（△減少額）	△181	△56	
現金及び現金同等物の期首残高	7,090	5,802	
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,909	5,745	

高機能カーボンはここに!!

自動車編

[第1回]

私たちの日常生活になくてはならない自動車。この自動車にも高機能カーボン製品が関わっていることをご存知でしょうか。製造工程において製造装置の部材として組み込まれているものや、自動車本体に組み込まれているものなど、多岐にわたります。今回は自動車に関わる高機能カーボン製品をご紹介します。

① ブレーキアシスト用バキュームポンプ 機械用カーボン

自己潤滑性をもち、摩擦や磨耗が起りにくいというカーボンの特性を活かし、真空ポンプの回転部分の部品として**ベーン**が使用されています。



③ 排気ガス再循環装置バルブ 機械用カーボン

高温の燃焼ガスに触れるため、耐熱性に優れたカーボン製の**軸受**が使用されています。

② 燃料ポンプ 電気用カーボン

燃料をタンクからエンジン内に供給する燃料ポンプ。ここには、耐蝕性・長寿命・高効率性などを備えた**カーボン整流子**や、**カーボンブラシ**が使用されています。



④ ウォーターポンプ 機械用カーボン

エンジンを冷却するため冷却水を循環させるウォーターポンプには、冷却水が漏れないように密封する部品としてカーボン製の**メカニカルシール**が使用されます。



他にも様々な部品の製造工程で使用されています。

⑤ 点火プラグ・セラミックヒーター

ホットプレス用ダイス・ヒーター・パンチ ほか

⑥ 電装部品用コネクタ

連続鑄造用ダイス

⑦ ラジエーター

治具

⑧ LED

サセプター

⑨ 液晶パネル

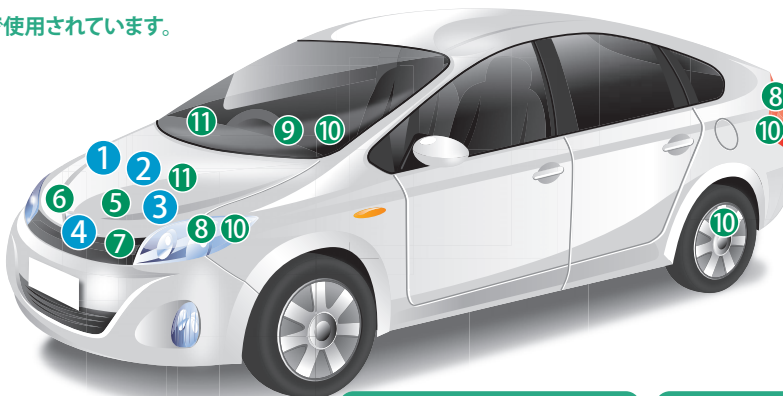
液晶パネル製造装置部品

⑩ プラスチック部品・ゴム部品 タイヤ・アルミホイール

放電加工電極

⑪ 各種電子機器・センサー等

るつぼ・ヒーターほか



⑤～⑪に使われている製品については、次回に詳しくご紹介します!

TOPICS

1. 生産体制拡充に向け建設工事を開始

当社では、既に発表いたしました計画に沿って、将来に向けての生産体制拡充の工事を進めております。託問事業所では、2012～2013年の順次完成を目指して、等方性黒鉛の第三工場の拡張工事と、C/Cコンポジット製品専用新工場の建設が進んでおり、生産技術センターにおいては、SiCコーティング黒鉛製品の増強工事が最終段階に入っております。当社はこれらの戦略的投資を最大限に活かした事業展開を推進し、高機能カーボンのトップランナーとして、今後も質・量ともにさらなる優位性を追求してまいります。



託問事業所にて執り行われた地鎮祭



建設予定地

2. コンプライアンス体制の強化を推進

近年の企業経営において、法令や社会規範の遵守等、企業倫理の重要性は高まる一方です。このような状況の中、当社は、今期、従業員の行動指針である「行動基準」の見直しを行うとともに、遵守すべき法令や規程を詳細に解説した「コンプライアンス・ガイドブック」を新たに作成し、従業員のコンプライアンス意識の強化に努めております。今後も信頼される企業であり続けるために、当社グループ一丸となり健全な企業活動に取り組んでまいります。

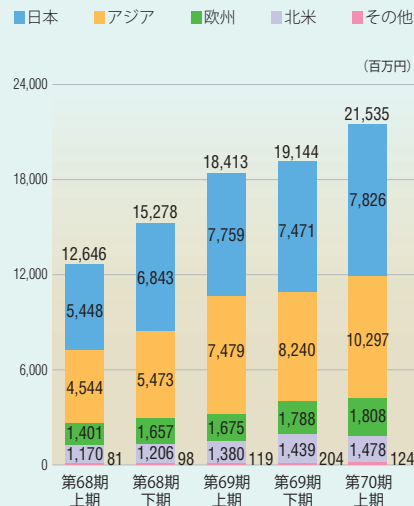


「行動基準」(左)と
「コンプライアンス・ガイドブック」(右)

海外売上比率は63.7%と大幅続伸。アジア（47.8%）のプレゼンス拡大。



地域別の売上高



事業拠点

(平成23年11月30日現在)

○国内事務所

本社・大阪営業所・海外営業部
 東京営業所
 東北営業所
 つくば営業所
 北陸営業所
 静岡営業所
 名古屋営業所
 広島営業所

四国営業所
 九州営業所
 近藤照久記念東洋炭素総合開発センター
 東洋炭素生産技術センター
 詫間事業所
 萩原工場
 いわき工場

○国内関係会社

東炭化工株式会社
 大和田カーボン工業株式会社

○海外主要関係会社

TOYO TANSO USA, INC. (アメリカ)
 GTD GRAPHIT TECHNOLOGIE GmbH (ドイツ)
 TOYO TANSO EUROPE S.p.A (イタリア)
 TOYO TANSO FRANCE S.A. (フランス)
 SHANGHAI TOYO TANSO CO., LTD. (中国)
 SHANGHAI YONGXIN TOYO TANSO CO., LTD. (中国)
 SHANGHAI TOYO TANSO INDUSTRIAL CO., LTD. (中国)
 JIAXIANG TOYO TANSO CO., LTD. (中国)
 TOYO TANSO TAIWAN CO., LTD. (台湾)
 TOYO TANSO KOREA CO., LTD. (韓国)
 TOYO TANSO (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
 TOYO TANSO SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
 TOYO TANSO INDIA PRIVATE LIMITED (インド)

株式の状況		(平成23年11月30日現在)
発行済株式の総数	20,750,688株	
単元株式数	100株	
株主数	8,822名	

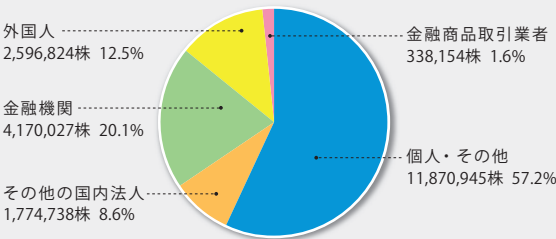
大株主			(平成23年11月30日現在)
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)	
近藤 純子	3,418	16.48	
近藤 朋子	1,873	9.03	
近藤 孝子	1,785	8.60	
近藤 尚孝	1,527	7.36	
財団法人近藤育英会	834	4.02	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	799	3.85	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	748	3.61	
三菱商事株式会社	566	2.73	
株式会社みずほ銀行	360	1.73	
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	360	1.73	

会社概要		(平成23年11月30日現在)
設立	昭和22年7月31日	
本社	〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル10階	
資本金	7,692,575,648円	
従業員数	948名(単体) 2,232名(連結)	

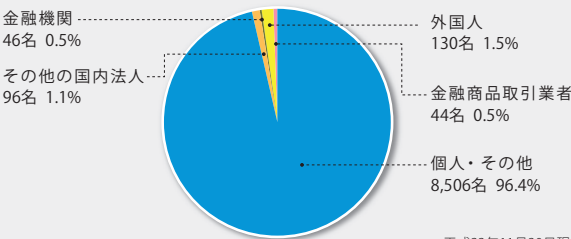
役員		(平成23年11月30日現在)
代表取締役会長	近藤 純子	
代表取締役社長	近藤 尚孝	
専務取締役	中原 全生	
取締役	三木 相煥	
取締役	中山 正一郎	
取締役	小西 隆志	
常勤監査役	中西 和孝	
監査役	江戸 忠	
監査役	田辺 陽一	
監査役	出原 敏	

※監査役 江戸 忠氏、田辺 陽一氏および出原 敏氏は社外監査役です。

■所有者別株式数分布状況



■所有者別株主分布状況



平成23年11月30日現在

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで		
定時株主総会	毎年8月		
基準日	定時株主総会	毎年	5月31日
	期末配当	毎年	5月31日
	中間配当	毎年	11月30日
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。		
電子公告掲載ホームページアドレス	http://www.toyotanso.co.jp		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	〒541-8502		
	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号		
	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部		
	証券コード 5310		

-
- ☐未受領の配当金について
三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。
- ☐株式に関する各種お手続きについて
株式に関するお手続き(住所変更、配当金振込先のご変更、相続手続き等)につきましては、株主さまが口座開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- ☐特別口座に記録された株式に関する各種お手続きについて
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお問い合わせください。
- 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031 (通話料無料)

東洋炭素株式会社

<http://www.toyotanso.co.jp>